

2027年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2026年8月6日
株式会社サンゲツ
証券コード：8130
(東証プライム、名証プレミア)

2027年3月期 第1四半期決算のポイント

■連結業績

- ・ 売上高および四半期純利益は過去最高を更新。営業利益は前年同期比で増益。
- ・ 売上高は、国内インテリアセグメントが牽引し、前年同期比で増収。
- ・ 営業利益は、国内インテリアセグメントの伸長および海外セグメントの黒字転換により、増益。
- ・ 四半期純利益は、営業利益の増益に加えて、前期に続き特別利益（助成金収入等：約8億円）を計上し、増益。
- ・ 通期計画に対しては、駆け込み需要等の一過性の要因もあり、堅調に進捗。一方で、中東情勢や価格改定等の影響は業績予想に織り込んでおらず、今後の動向を注視のうえ、適時適切な開示に努める方針。

■国内インテリアセグメント

- ・ 新設市場が弱含む中、中東情勢をはじめとする外部環境変化に伴う調達リスクやコスト上昇等が顕在化。パートナー企業との連携による安定調達、安定供給や、機能間連携の強化を通じたソリューション提案に注力。
- ・ 仕入先工場の火災事故に伴う供給制約からの回復、2026年7月1日実施の価格改定前の駆け込み需要等による販売数量増加が寄与し、増収増益を達成。

2027年3月期 第1四半期決算のポイント

■国内エクステリアセグメント

- ・ 新設市場の弱含みに加え、前期の商品価格改定前の駆け込み需要の反動減等が重なり、減収および営業損失を計上。
- ・ 非住宅市場への拡販や設計・施工事業の売上増加等、事業基盤の拡充を推進。

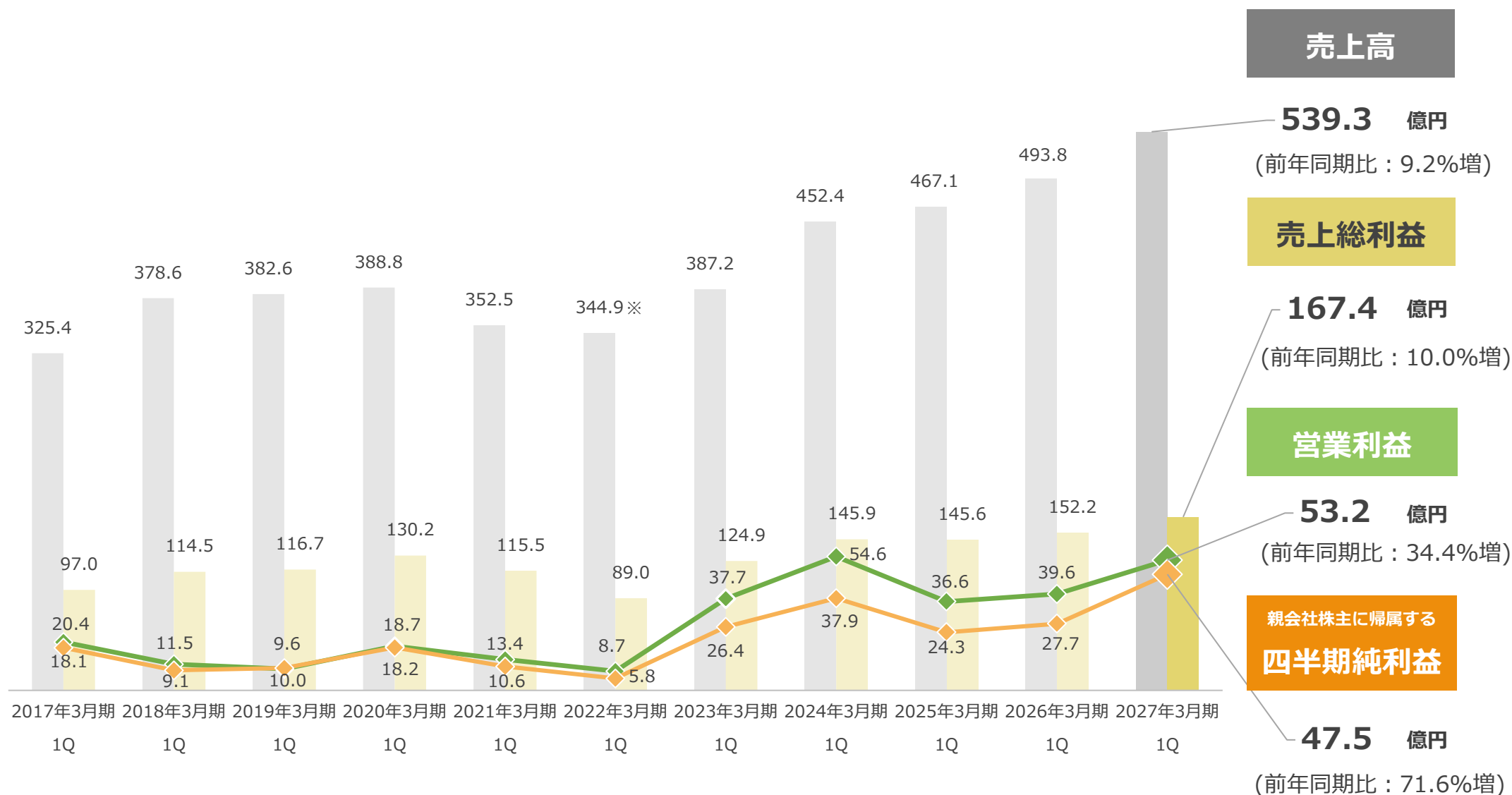
■海外セグメント

- ・ 北米は引き続き堅調、アジアのインテリア事業は売上規模を維持したものの、シンガポールの空間総合事業は損益管理強化等に伴う売上減により、セグメント全体では前年同期比減収。
- ・ インテリア事業は、北米をはじめ総じて利益増、空間総合事業も原価管理の徹底や前期の大型案件に伴う一過性コストの剥落等により黒字転換。本社経費を差し引いたセグメント営業損益としても黒字化。

連結損益計算書

	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期 (億円、%)			
	実績	実績	前年同期比	通期予想 5月公表	通期進捗率
売上高	493.8	539.3	+45.4 (+9.2%)	2,130.0	25.3%
売上総利益	152.2	167.4	+15.1 (+10.0%)	663.0	25.3%
(利益率)	(30.8%)	(31.0%)	-	(31.1%)	-
販売費及び 一般管理費	112.6	114.1	+1.5 (+1.4%)	473.0	24.1%
営業利益	39.6	53.2	+13.6 (+34.4%)	190.0	28.0%
(利益率)	(8.0%)	(9.9%)	-	(8.9%)	-
経常利益	40.5	56.7	+16.2 (+40.1%)	192.0	29.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	27.7	47.5	+19.8 (+71.6%)	135.0	35.2%

連結売上高・売上総利益・営業利益・四半期純利益の推移

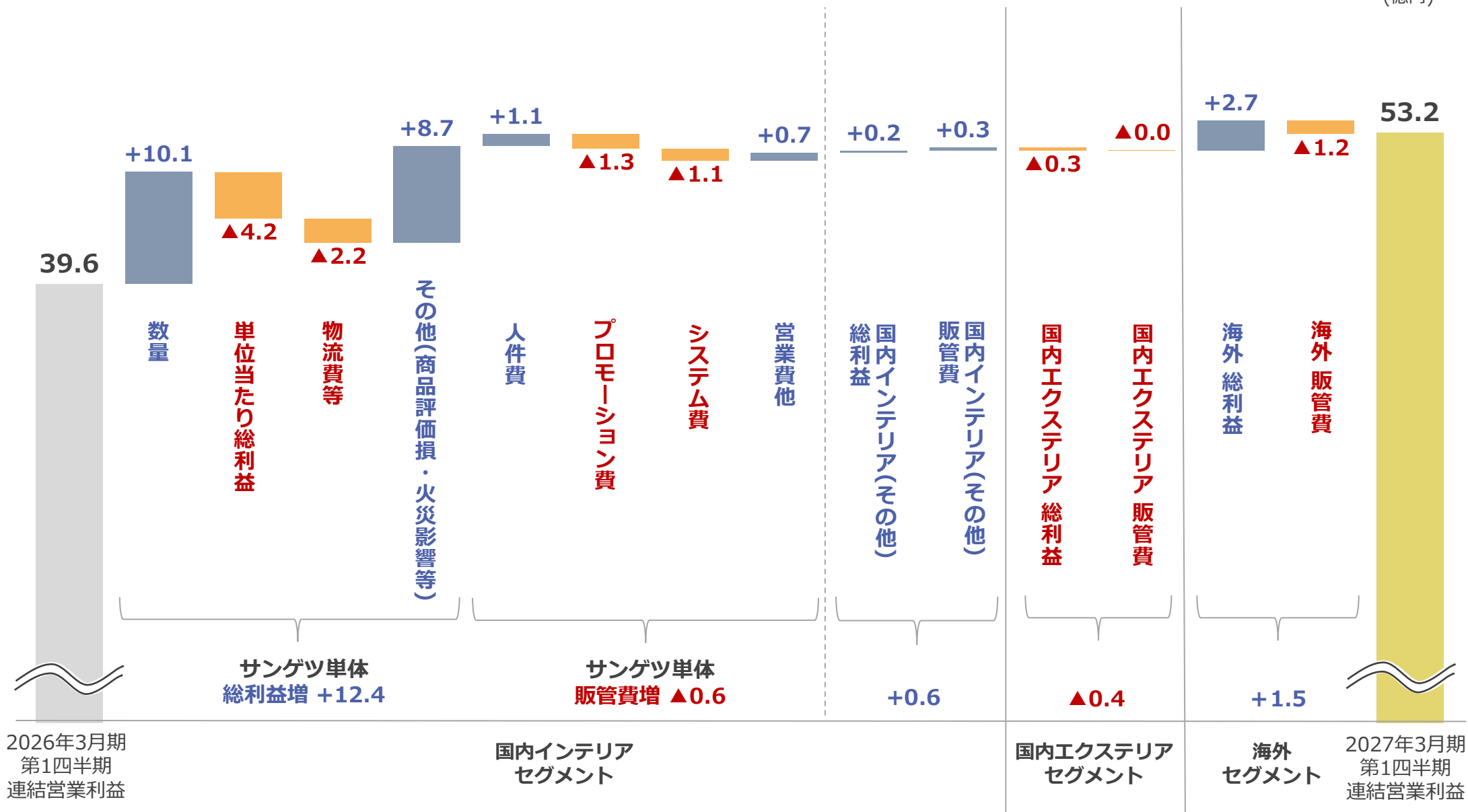


セグメント別売上高・営業利益

	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期			
	実績	実績	前年同期比	通期予想 5月公表	通期進捗率
国内インテリアセグメント 売上高	389.8	439.4	+49.5 (+12.7%)	1,695.0	25.9%
壁 装 ユニット	199.9	217.5	+17.5 (+8.8%)	-	-
床 材 ユニット	127.7	149.8	+22.0 (+17.3%)	-	-
ファブリック ユニット	23.6	25.1	+1.5 (+6.5%)	-	-
施 工 ・ そ の 他	38.5	46.9	+8.3 (+21.7%)	-	-
営業利益	40.3	52.8	+12.5 (+31.0%)	182.0	29.1%
国内エクステリアセグメント 売上高	16.7	16.3	▲0.4 (▲2.7%)	73.0	22.4%
営業利益	0.1	▲0.2	▲0.4 (-)	1.0	-
海外セグメント 売上高	87.2	83.6	▲3.5 (▲4.1%)	362.0	23.1%
営業利益	▲0.8	0.6	+1.5 (-)	7.0	9.8%
セグメント間取引調整(売上高)	▲0.0	▲0.0	▲0.0(-)	-	-
セグメント間取引調整(営業利益)	0.0	0.0	+0.0(+45.8%)	-	-
連結売上高	493.8	539.3	+45.4 (+9.2%)	2,130.0	25.3%
連結営業利益	39.6	53.2	+13.6 (+34.4%)	190.0	28.0%

連結営業利益増減（前年同期比 4-6月）

（億円）



■事業環境と業績予想への織り込み状況

- ・ マクロ環境：世界経済は緩やかに成長するも、米国の通商政策、地政学リスク等によるサプライチェーンの不確実性は継続する見通し。
- ・ 建設市場：建設コスト高騰等により、住宅、非住宅とも新設は弱含みで推移する一方、リフォーム・リニューアルは底堅く推移すると見込む。
- ・ 業績予想への織り込み：前年の仕入先工場の火災事故による供給制約はほぼ解消。しかしながら、原材料調達コストや物流費等の上昇、人件費をはじめとする販管費の増加、成長戦略のための投資を計画に織り込む。

■中東情勢等に係る影響について

- ・ 中東情勢の緊迫化等、地政学リスクの高まりに伴うエネルギー価格の高騰、サプライチェーンの混乱による原材料の調達難、原材料価格の上昇等の不確実性について、現時点でその影響額を合理的に算出することが困難であることから、本業績予想に織り込んではいない。合理的に算出することが可能になった時点で業績予想の修正を行う。
- ・ なお、上記中東情勢に係る影響と同様、2026年7月1日より実施している価格改定についても本業績予想には織り込んでいない。

連結業績予想

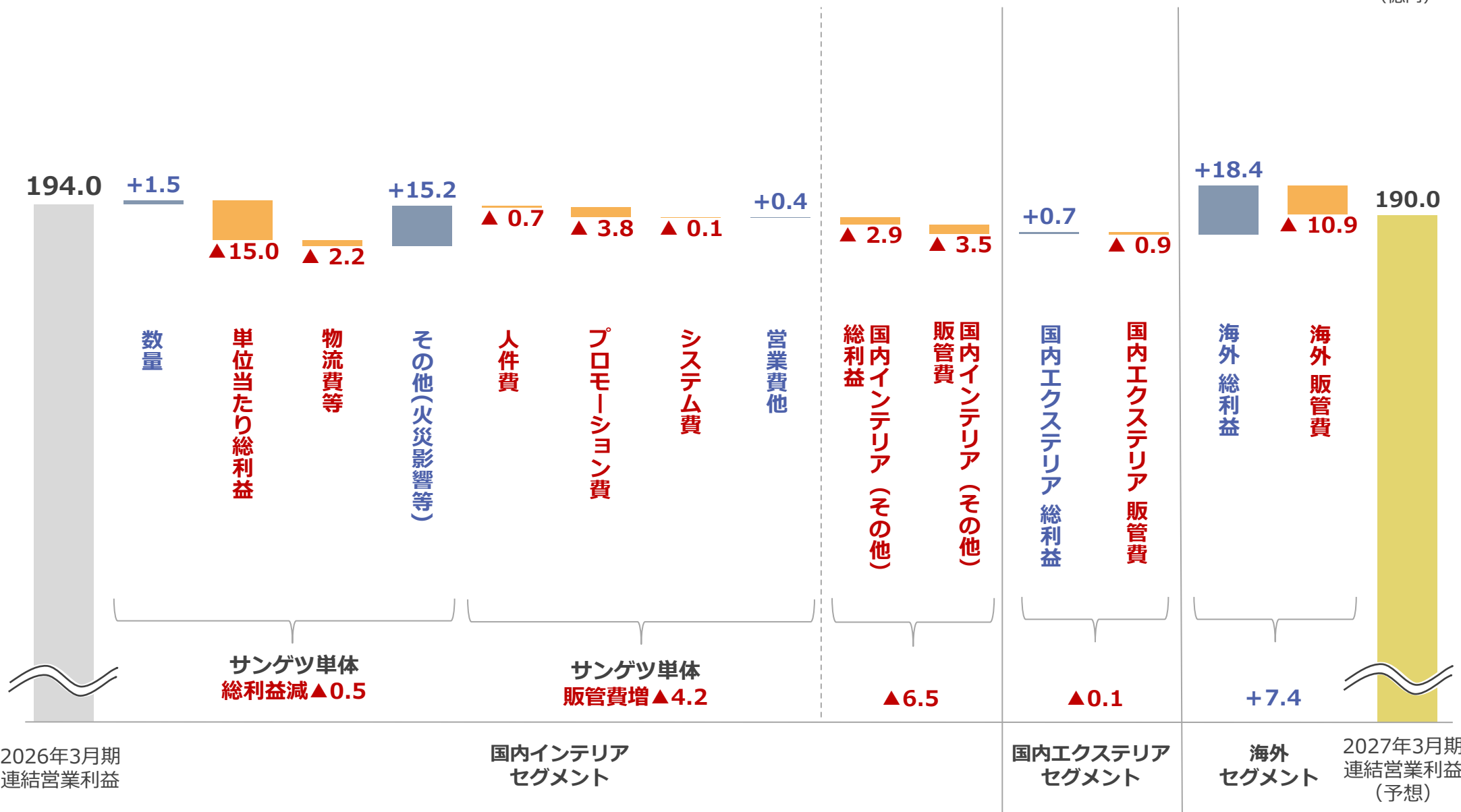
2026年5月公表

	2026年3月期			2027年3月期 (億円、%)	
	上期	下期	通期	通期	
	実績			予想	前年同期比
売上高	988.9	1,075.4	2,064.4	2,130.0	+65.5 (+3.2%)
売上総利益	306.2	341.0	647.2	663.0	+15.7 (+2.4%)
(利益率)	(31.0%)	(31.7%)	(31.4%)	(31.1%)	-
販売費及び 一般管理費	224.3	228.8	453.2	473.0	+19.7 (+4.4%)
営業利益	81.8	112.2	194.0	190.0	▲4.0 (▲2.1%)
(利益率)	(8.3%)	(10.4%)	(9.4%)	(8.9%)	-
経常利益	85.2	116.2	201.5	192.0	▲9.5 (▲4.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	63.1	83.2	146.4	135.0	▲11.4 (▲7.8%)

連結営業利益予想の増減（前年同期比 4-3月）

2026年5月公表

（億円）



2026年3月期
連結営業利益

国内インテリア
セグメント

国内エクステリア
セグメント

海外
セグメント

2027年3月期
連結営業利益
(予想)

セグメント別業績予想

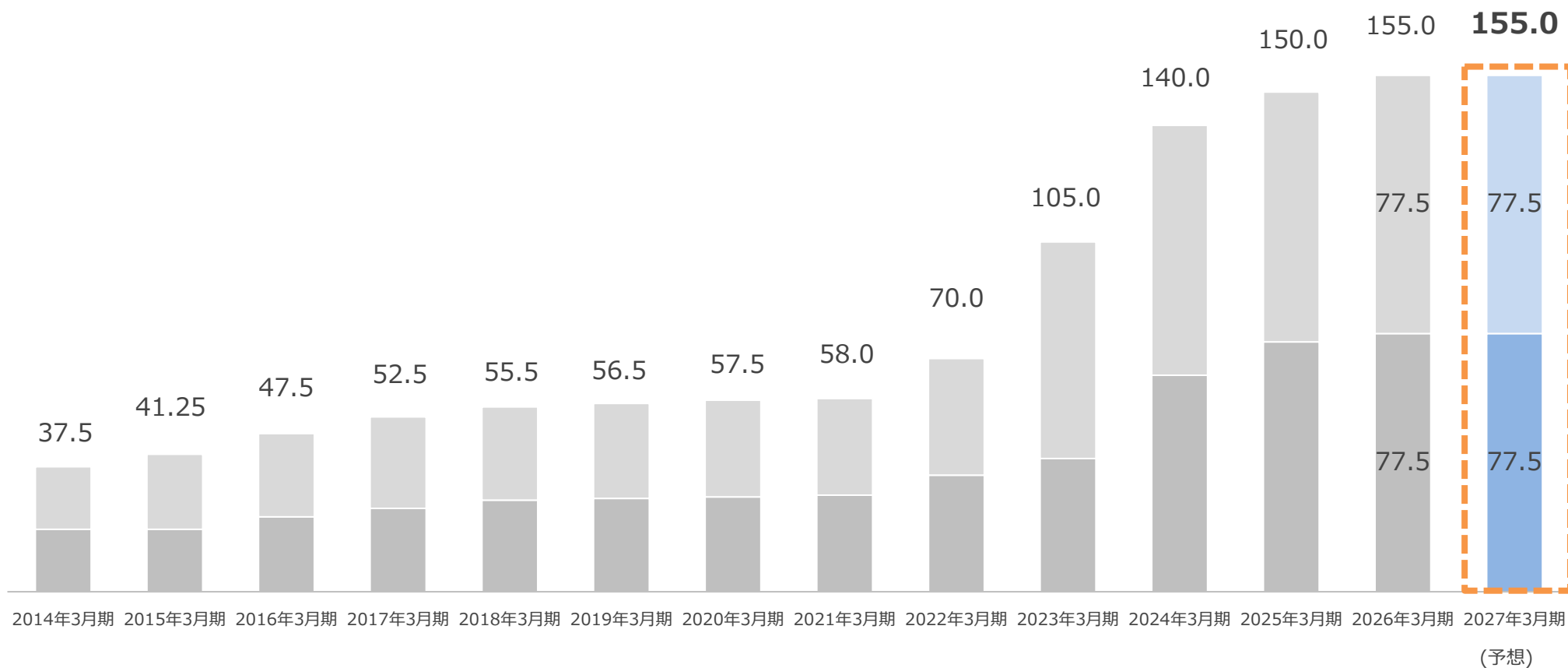
2026年5月公表

		2026年3月期			2027年3月期 (億円、%)	
		上期	下期	通期	通期	
		実績			予想	前年同期比
国内 インテリア	売上高	780.1	860.9	1,641.0	1,695.0	+53.9 (+3.3%)
	営業利益	82.5	110.7	193.3	182.0	▲11.3 (▲5.9%)
国内 エクステリア	売上高	33.8	39.2	73.1	73.0	▲0.1 (▲0.1%)
	営業利益	0.3	0.8	1.1	1.0	▲0.1 (▲15.4%)
海外	売上高	175.0	175.2	350.2	362.0	+11.7 (+3.3%)
	営業利益	▲1.0	0.6	▲0.4	7.0	+7.4 (-)
セグメント間 取引調整	売上高	▲0.0	▲0.0	▲0.0	-	-
	営業利益	0.0	0.0	0.0	-	-
合計	売上高	988.9	1,075.4	2,064.4	2,130.0	+65.5 (+3.2%)
	営業利益	81.8	112.2	194.0	190.0	▲4.0 (▲2.1%)

株主還元実績・予想 1株当たり配当金推移

2026年5月公表

(円)



2027年3月期の1株当たり年間配当金は、中東情勢等の不透明な状況を踏まえ、現時点においては155.0円（中間77.5円、期末77.5円）維持を見込む

将来見通しに関する注意事項

本資料には当社の「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の実事に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。

Joy of Design